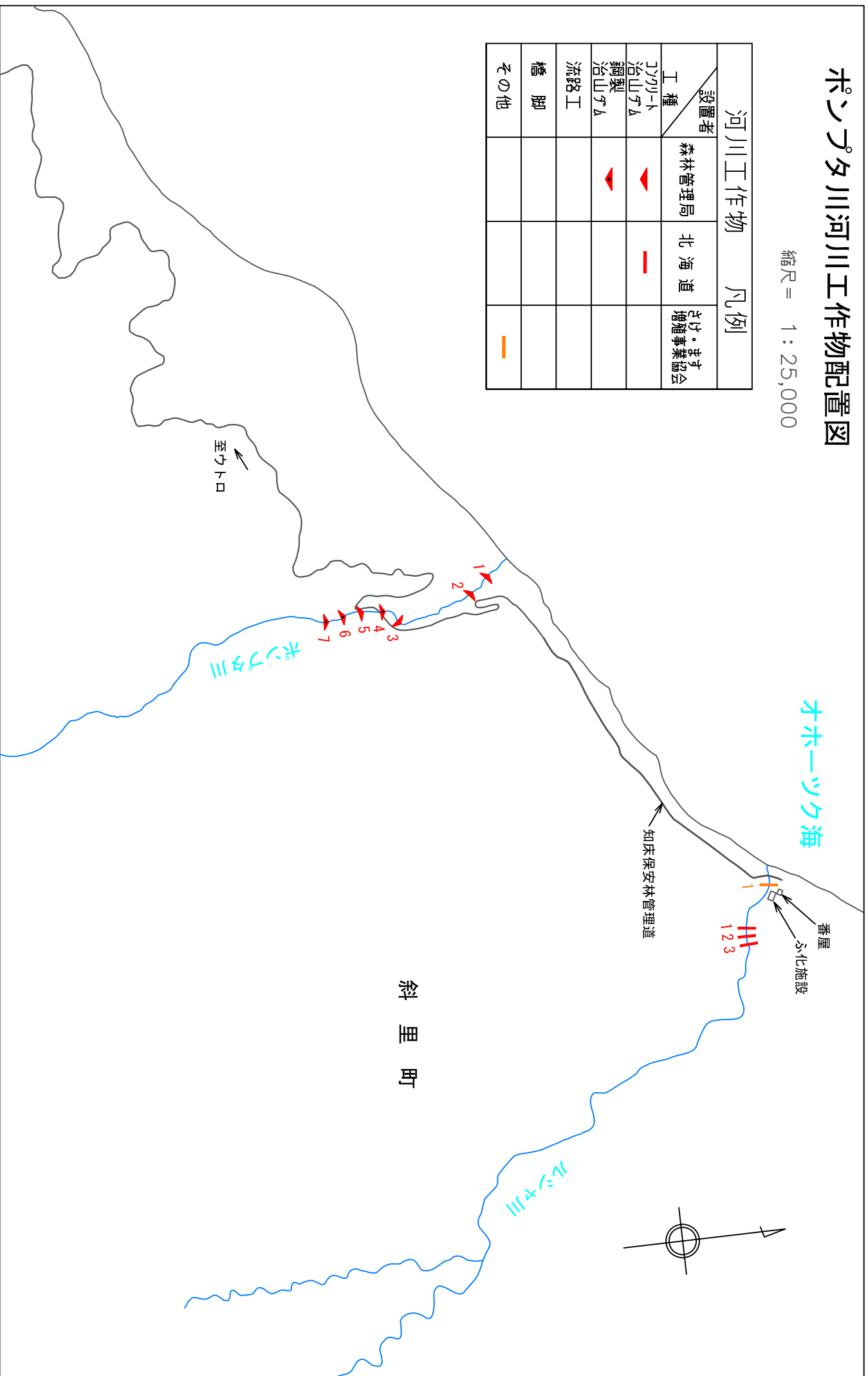


平成19年度影響評価対象河川の現況調査結果
(ポンプタ川)

ポンプタ川河川工作物配置図

縮尺 = 1 : 25,000

河川工作物 凡例	
設置者	
工種	森林管理局
コケリ-ト	北海道
治山ゲム	さげ・ます 増殖事業協会
鋼製	
治山ゲム	
流路工	
橋脚	
その他	



河川環境及び動態調査結果取りまとめ

河川名：ポンプタ川

河川 工作物 No	流域 面積 (ha)	区間 距離 (m)	区間溪 床勾配 (%)	工作物 等落差 (m)	河川環境		土砂動態			保全対象	区間の特記事項
					有無	判断した因子等	ha当たり 累積崩壊 地面積 (ha)	ha当たり累 積溪流内滞 留土砂量 (m ³ /ha)	疑似掃流力		
河口～ (A)	383	60	13.3		有	河口部は、平水時には大小の石礫の下(伏流)を水が流れている。	0.003	49	8,732	河口部は、平水時には伏流水となっている。	
(A) ～1	381	109	15.0		有	工作物No1のプールでオシヨロコマを確認した。	0.003	49	8,725	巨石により落差1m以上の滝が4カ所形成されている。	
1～2	378	210	22.6	4.7	一部有	堤体より約30m上流から、巨石が重なり合い溪床勾配約34%、延長100mに渡り滝を形成している。	0.003	48	8,656	巨石が重なり合い滝を形成してる。	
2～3	371	407	16.2	3.7	無	工作物No1上流の滝により遡上を阻害されている。	0.002	42	8,496	保安林管理林道法脚部浸食されている。	
3～4	357	46	13.7	4.9	無	同上	0.002	35	8,318	平水時は伏流水となっている。	
4～5	355	47	8.0	6.0	無	同上	0.002	34	8,272	No4の堤体上流部は、河床路として使用されている。	
5～6	349	14	4.7	2.1	無	同上	0.002	34	8,132	平水時は伏流水となっている。	
6～7	348	37	8.0	2.0	無	同上	0.002	34	8,143	平水時は伏流水となっている。	
7～ (B)	346	260	11.3	2.3	無	同上	0.002	34	8,096	工作物No7より上流約260m地点に、巨石が重なり合って出来た落差2.5mの滝が出現する。	
(B) より上流	336	5,260	24.0		無	同上	0.002	31	8,064	(B) より約250m地点に、岩盤が露出した滝状の急斜地が出現し平水時には水の流れはない。	
計		6,450									

注)

1. **(A)** は魚止めの滝

2. ha当り累積崩壊地面積は、累積崩壊地面積/流域面積

3. ha当り累積滞留土砂量は、累積滞留土砂量/流域面積

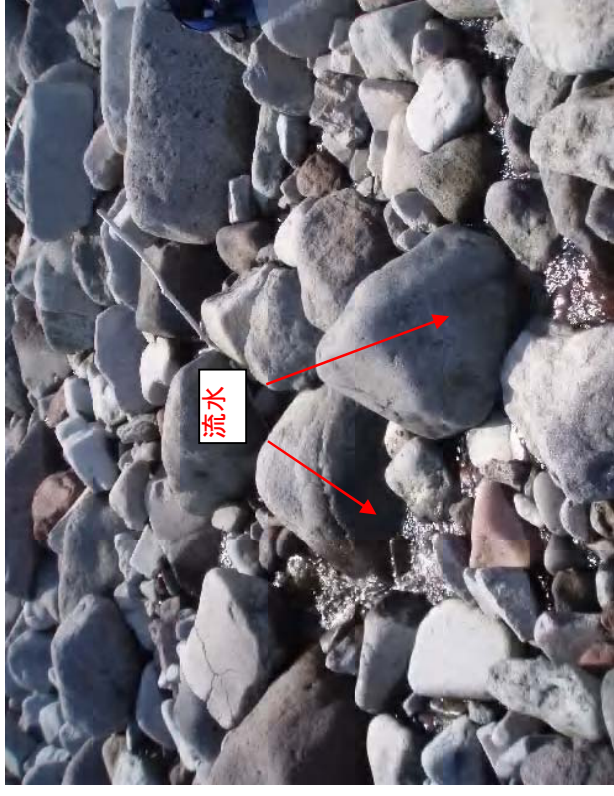
4. 疑似掃流力は、流域面積×最上流部からの河床勾配

河口部の伏流水の状況

2007. 8. 下旬撮影



河口部の河川状況（伏流水となっている部分）



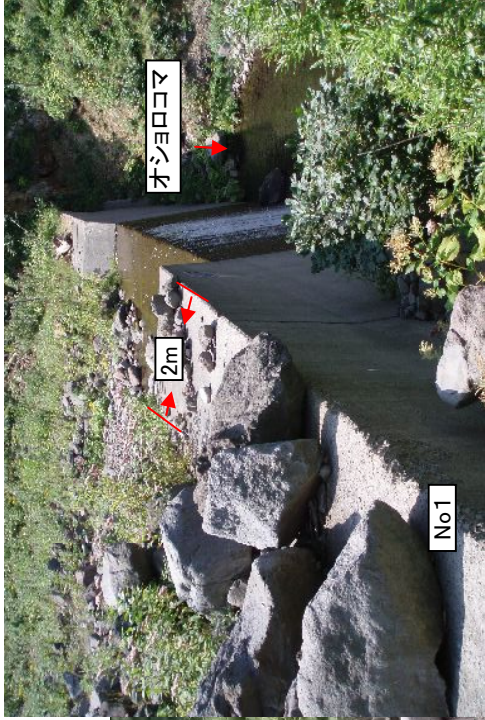
伏流水の状況

巨石が堆積し滝を形成している状況等(工作物No.1上流部)



落差の状況

巨石が堆積し滝を形成している状況
(工作物No.1の堤体より約30m上流部)



工作物No.1と転石の状況

